

J.S.Bach Sinfonien

バッハ シンフォニア

第8番 ヘ長調 BWV794

- 楽曲分析と演奏法 -

著者：市花 真弓

目次

はじめに、インヴェンションとシンフォニアについて	3
1. バッハ「シンフォニア」第8番 F dur BWV 794 楽譜	4
2. 主題と対旋律と装飾記号の演奏について	6
3. バッハ「シンフォニア」第8番 F dur BWV 794 第I展開部の楽曲分析と演奏法について	7
4. バッハ「シンフォニア」第8番 F dur BWV 794 第II展開部の楽曲分析と演奏法について	10
5. バッハ「シンフォニア」第8番 F dur BWV 794 第III展開部の楽曲分析と演奏法について	11
6. バッハ「シンフォニア」第8番 F dur BWV 794 第IV展開部の楽曲分析と演奏法について	13
7. 楽譜にアナリーゼの内容を表記しました。 テンポ、強弱も記しました。	16

■はじめに

2003年度からメールマガジンの配信システムを利用しました音楽講座としまして、「バッハ インヴェンションを弾いてみよう！- 楽曲分析と演奏法 -」の発行を始め、2012年にPDF書籍版に移行致しました。思いがけず、多くの皆様にご利用頂け、パソコンの前で頭が下がる思いであります。

2019年3月～2020年5月、バッハ インヴェンション全15曲の全面作り直しを致しましたが、シンフォニアも同様に全面作り直しをする事と致しました。作る度に新たな発見などあり、このように音楽に向き合っている今に感謝しております。(2020年6月)

■インヴェンションとシンフォニアについて

ヨハン・ゼバスティアン・バッハ (Johann Sebastian Bach 1685-1750) のクラヴィーア曲は、その大部分がケーテンの宮廷楽長時代 (1717~1723) に書かれました。インヴェンションとシンフォニア BWV 772-801 (*Inventionen und Sinfonien* BWV 772-801) も、「フランス組曲」「イギリス組曲」「平均律クラヴィーア曲集第1巻」などと共にケーテン時代に書かれた作品の一つとなります。クラヴィーア曲の多くは、教育目的として書かれました。バッハには、自身が「いずれも生まれながらの音楽家」と誇らしく語る息子たちがおり、とりわけ豊かな才能に恵まれていた長男ヴィルヘルム・フリーデマンの教材として「ヴィルヘルム・フリーデマン・バッハのためのクラヴィーア小曲集 (*Klavierbüchlein für Wilhelm Friedemann Bach*)」(1720年頃) が編まれました。この曲集の中に「インヴェンション」の最初の形が見出される事となります。そこでは、2声の曲が「プレアンプルム」(*Praeambulum*)、3声の曲が「ファンタジア」(*Fantasia*)と題されていました。その後、バッハはさらに改訂し、1723年に配列も変え、題名も2声曲を「インヴェンツィオ」、3声曲を「シンフォニーア」と改めました。

自筆浄書譜には次のような表題があります。

「クラヴィーアの愛好家、とりわけ学習希望者が、まず2声部をきれいに弾き分けるだけでなく、さらに上達したならば、オブリガートの3声部を正しくそして上手に処理し、それと同時に、すぐれた楽想を得るだけでなく、それらを巧みに展開すること。そしてとりわけ、カンタービレの奏法を身につけ、それとともに作曲の予備知識を得るための、はっきりした方法を示す正しい手引き。」

シンフォニアもインヴェンション同様に、曲集に採用されています 15 調は、ハ長調 - ハ短調 - ニ長調 - ニ短調 - 変ホ長調 - ホ長調 - ホ短調 - ヘ長調 - ヘ短調 - ト長調 - ト短調 - イ長調 - イ短調 - 変ロ長調 - ロ短調 と 嬰ヘ短調、嬰ハ短調、変イ長調を除く 15 調が上行形に整えられています。(シャープ、フラット4つまでの調です。)

Sinfonia 8

Johann Sebastian Bach
BWV 794

The musical score for Sinfonia 8, BWV 794 by Johann Sebastian Bach, is presented in five systems. Each system consists of two staves. The key signature is G minor (one flat) and the time signature is 3/4. The notation includes various musical symbols such as slurs, ties, and ornaments. Fingerings are indicated by numbers 1-5. Trills are marked with a wavy line and a fermata. The score is a single melodic line for a single instrument.

System 1: Treble clef, G minor, 3/4. Measures 1-4. Fingerings: 4, 2, 3, 3, 3, 3, 4, 1, 2, 4, 4, 5. Trills: measures 3 and 4.

System 2: Treble clef, G minor, 3/4. Measures 5-8. Fingerings: 3, 5, 3, 2, 4, 3, 2, 4, 2, 1, 2, 1, 2, 3, 2, 4, 4, 5, 4, 1, 5, 3, 2. Trills: measures 6 and 7.

System 3: Treble clef, G minor, 3/4. Measures 9-12. Fingerings: 2, 2, 2, 3, 4, 2, 1, 4, 4, 1, 2, 5, 5, 2, 4, 1, 5, 3, 2. Trills: measures 10 and 11.

System 4: Treble clef, G minor, 3/4. Measures 13-16. Fingerings: 4, 2, 2, 4, 4, 3, 5. Trills: measures 14 and 15.

System 5: Treble clef, G minor, 3/4. Measures 17-20. Fingerings: 2, 1, 1, 2, 3, 1, 5, 2, 1, 3, 1, 2, 4, 2, 4, 2, 3, 2, 4, 2, 1, 2. Trills: measures 18 and 19.

2. 主題と対旋律と装飾記号の演奏について

F dur の軽快なフーガで書かれています。主題が、次から次へと現れる点で特色のある曲です。

主題です。



冒頭の動機 a が特徴ある音型となっており、これによって主題の登場が明瞭となります。前半を A、変奏された後半を A' と捉えます。

主題に対し、対旋律が保持されています。



この対旋律は、種々変化しながら各主題に対位しています。

この曲の装飾記号は、 tr (Pralltriller) のみとなります。主題に記されています。



又は、



と演奏して下さい。原本では、最初の3つの主題にのみ記されていますが、私は全ての主題に tr をつけて演奏した方が良いと思います。